

日 時 令和4年11月29日（火）第3校時
授業場 美術室

生徒 8年C組 24名
授業者 更科結希

1. 題材名 「MADE FROM WOOD」

2. 題材観・子供観・指導観

本題材は、北海道の木材の端材をアップサイクルし、生徒自身や家族の暮らしに役立つ用途をもち、かつ美しい形を追求した表現を通して「美しさとは何か」について考える授業である。アップサイクルは、本来捨てられるはずの製品に新たな価値を与え、素材の特徴を生かしながら、価値の高い物を生み出す行為を示している。そうした要素を取り入れた工芸分野での観点から、SDGsの17の目標のうち、目標12の「つくる責任つかう責任」に該当する。

学習指導要領では、「A表現」の(1)イの用途や機能があるものを、使う目的や条件などを基に、使用する者の立場を踏まえ機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と造形的な美しさなどとの調和を総合的に表現するための発想や構想に関する指導事項、(2)の創意工夫しながら見通しを持って表す技能、「B鑑賞」の美術の働きや美術文化に関する鑑賞に該当する。多くの人が共通して感じる機能と美しさの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることが重要である。

今回は、工芸分野を通した学習活動となる。柳宗悦は、「よき品となるには、何に役立つかをはっきり掴まねばならぬ。これが曖昧だと機能は半減するであろう」と述べていることから、生徒に自らの暮らしを想起させ、役立つものは何かを十分に検討させた上で取り組ませたい。

「役立つ」に関しては、実際使うことによって実感を得る「役立ち」と暮らしの中に品があることによって「役立つ」といったようにいくつかの「役立ち」があることを踏まえ、単に便利にとらわれることがないように指導していきたい。その際には、使う人の年齢や生活スタイル、好みなどから主題を考えたり、地域の身近な物や伝統的な物などから表したいモノの考えを広げたりしていくことが考えられる。生活を豊かにする視点も大切であり、使う事自体に面白さを感じたりすることなどにも着目させたい。

そして、材料や用具の生かし方を含め、目的や機能などをより総合的に捉えて表現の構想を練る学習過程が重要であると考え。材料の持つ性質やそれらが感情にもたらす効果を理解することも求められる。材料を持ち味にこだわって、吟味し、厳選することにより、効果的に生かせるように発想することや生徒自身が材料を手に取り、体の諸感覚を働かせて、そこから様々なことを感じ取って発想や構想をすることが大切であると考えている。

3. 題材の目標

- (1) ・木本来がもつよさや特徴及び質感などが感情にもたらす効果、暮らしに役立つ場面や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。
・意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。
- (2) ・暮らしの中で使うために、使う者の立場、材料、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を総合的に考え表現の構想を練る。
- (3) ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組んでいる。

4. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 木本来がもつよさや特徴及び質感などが感情にもたらす効果、暮らしに役立つ場面や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発 暮らしの中で使うために、使う者の立場、材料、機能やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどの調和を総合的に考え表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 暮らしの中で、目的や機能との調和の撮れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に工芸の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5. 題材のデザイン (全8時間)

手立て


時間	学習活動・学習内容	重点	記録	備考
0	<p>○課題の把握と鑑賞</p> <p style="text-align: right;">手立てⅠ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題「美しいかたちとは何か」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説（個人）～仮説（チーム）で共有する ・個人の表現をチームで助け合いながら進め検証 ・表現方法や手順、創意工夫を通し仮説の検証を行う </div> <p>・他製品の抽象トを作成し、リサーチを行う</p>	態		態：アブストラクトや仮説の内容
1	<p>○木と出会う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の暮らしを想起しながら、役立てるもの考える ・素材のよさや特徴、どのような加工が可能か考える <p>手立てⅡ</p> <p>材料に触れさせながら、木材の特徴や良さについて共有する</p>	知態	○	知：意見共有に関わる観察とロイロノートの記述態
2	<p>○暮らしに生きる形を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途を効果的に生かした美しい形の追求をする ・他者の考えた形に対して、誰もが美しいと感じる形について検討していく ・構想した形を用いて木取りをする 	思	○	思：クロッキー
3 本時	<p>○デザインに合わせた最適な木取りを検討し、切削をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインに合わせた木目などの位置を決定する <p>手立てⅢ</p> <p>木取りを検討する上で、形と素材の関係性について考える</p>	思	○	思：生徒観察、ロイロノート
4 ～ 7	<p>○美しさと用途を両立する作品を目指して表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切削→仕上げ→組み立て→再仕上げの手順で表現していく。 	技		生徒観察、ロイロノート、途中経過の表現
8	<p>○相互鑑賞、振り返りから「美しいかたち」に対する考えをまとめる</p>	態	○	ロイロノート
0	<p>○工芸に関わる職人や津別町の家具づくりに関わるインタビュー鑑賞</p>	思態	○	生徒観察、クロッキー

6. 本時の目標 (3/8)

木の特徴を生かし、用と美の両立を考えたデザインに合う木取りの検討をする。その上で、適切な道具を選択して、思い描く形の切り出しを始めていくことができる。

7. 本時のデザイン

手立て

○子供の学習活動 教師の働きかけ (●発問, ▲補助発問, ■指示・説明)	◆留意点 ※評価								
<p>1. 最適な木取りを検討する。</p> <p>●木取りをする時に、どんなことに気を付けていたらよいだろうか</p> <p>II</p> <p>○考えられる方法や注意点を共有する</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・木目をどう生かすか ・木のどの部分を使うか ・どの角度で使うか 等 </div> <p>●なぜ、木目を生かした木取りをした方がよいのでしょうか。 (出された意見をもとに)</p> <p>●丸いキーホルダーをつくらうとしているとき、この木材であれば、どこで木取りしますか。</p>  <p>▲避けた方がよいところはありますか？</p> <p>■自分の表現の木取りを考えてけがきしてみましょう。</p> <p>○木取りの位置について検討する</p> <p>■同グループで互いのけがきの状態を確認しましょう。 →修正が必要な場合は「けがき」をし直す</p> <p>2. けがきにそって道具を選択し、切り出していく</p> <p>■木取りによって違いますが、形を整えていきましょう。</p> <p>■技術の時間に、大きく切断するための方法は知っていると思いますので、形を整えていくための方法は、事前に動画で配信してありますので、最適なものを使って下さい。</p> <table border="1" data-bbox="199 1630 922 1888" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">のこぎり ○</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">紙ヤスリ 動画</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">糸鋸 動画</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">カンナ 動画</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">電動糸鋸 ○</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">彫刻刀 ○</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">接着 動画</td> <td></td> </tr> </table> <p>3. 仮説に関わる考えと振り返りI</p> <p>■今日の木取りや切り出しに関わり、美しい形の検討で注意を払ったことについて振り返りをしましょう</p>	のこぎり ○	紙ヤスリ 動画	糸鋸 動画	カンナ 動画	電動糸鋸 ○	彫刻刀 ○	接着 動画		<p>◆留意点 ※評価</p> <p>◆複数考えられる最適な木取りの視点について共有する</p> <p>◆木の節や木目 (板目・柾目などの資料) を用いる</p> <p>◆ロイロノートの活用 ※共有した視点を基に、木取りの位置について検討している様子を観察。実際にけがきされたもので確認。</p> <p>◆ロイロノートの活用</p> <p>◆動画を参照しながら、最適な方法で切削をする</p> <p>◆安全と教室内の導線を確保できるように道具の配置を中央とする ○は既習 動画は新しい道具、注意が必要な材料</p> <p>◆ロイロノートの活用</p>
のこぎり ○	紙ヤスリ 動画	糸鋸 動画	カンナ 動画						
電動糸鋸 ○	彫刻刀 ○	接着 動画							

7. 授業における手立て

手立て 前期課程と共通の手立て

- ① 課題解決力を高めるための授業構造等の工夫Ⅰ
- ② 試行への意欲を生み出し「学び合い」を広げ活性化させるための工夫Ⅱ

①課題解決力を高めるための授業構造等の工夫Ⅰ

一単位時間、題材全体の中に試行錯誤や追究の時間を意図的・効果的に配置し、それらの活動を基に課題を明らかにした上で、計画を見直ししながら、主題に深く向き合い、主体的に取り組むことで課題解決の力を高めていく。

②試行への意欲を生み出し「学び合い」を広げ活性化させるための工夫Ⅱ

「造形的な見方・考え方」を働かせながら、影響力を発揮し共に高め合えるような「学び合い」の場を活性化させるため、演習や交流場面において、「やってみたい」「試してみたい」という意欲を生み出し試行場面につながるようにし、子ども達の学び合いが自然と広がるような環境構成の工夫を行う。

一昨年前から、本教科では「創造活動の価値を見出すことができる子供の育成」を掲げ、研究を進めてきた。

美術科では、2020年度は「生徒が対象や事象との出会いから主題を生み出す場面」において、題材構成の工夫、導入部に着目した手立てを講じてきた。特に学習課題の在り方について検討し、2021年度は、生徒が生み出した主題のもと、主題の追求に必要な視点を獲得するための手立てを講じてきた。いずれも、「主体的・対話的で深い学び」の実現と生徒が学習課題に対し魅力を感じ、学習課題と生み出した主題の追求を重ねていける授業を目指した。

◆後期課程における前期課程と共通の手立ての具体について

今年度は、手立てⅠに関わり、学習課題を複数題材の学習を経て自分なりの考えを導いていくための「概念的な問い」の設定を行うことにした。本題材に取り組む前時に「美しい形とはどんなものか」を設定し、仮説を立てることにした。

生徒の仮説には、次のようなものがある。（括弧内は生徒自身が自分で立てた仮説に対し、自分自身がわからないことについて記載していることを記載させたそのままを掲載している。）あいまいなことを文章化して置くことにより、意識化することが大切であると考えた。

- ・計算し尽くされたような状態が美しいと感じるだろう。（計算し尽くされているとはどんな状態か）
- ・規則性と珍しさのある状態が美しいだろう（珍しいとはどんなものか）
- ・凹凸があり、自然の恩恵を受けたままの状態が美しいだろう（自然の恩恵とは何か）
- ・きつと球体などの滑らかな曲線があるような形が美しいのではないか？
- ・均一なもの、バランスの良い形が美しいのではないだろうか（バランスの良いの基準は？）

こうした仮説の検証と生徒が生み出す主題の追求すべきことが存在することにより、表現活動を通して育みたい資質・能力の獲得に繋がるのではないかと考えた。

手立てⅡに関しては、次の活動に主体的に取り組む際に、必要となる視点を他者と共有する場を設定するために意図的に投げかける教師の発問とした。他者と共有すべき視点は、学習過程の中で必ず検討すべき事項となるよう、教師の働きかけが必要となると考えている。